

山行報告書

受付 No.	302	登山地・ルート	恵那山
目的	雪山トレーニング		
メンバー	L: 大山、松野		
行動記録			

月 日 曜	天候	ポイント地点・所要タイム					
1・24・日	晴れ	浜松＝林道脇◎	～	広河原登山口	～	恵那山～2191ピーク?～	登山口～◎＝浜松
		7:15		8:12		12:25	12:49 15:00 15:53
・	・						

記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

【駐車スペース】高速を園原 IC で下り、スキー場の案内に従って左へ入る。集落を抜けてすぐ、行く手の林道が雪で白かったので、先の状況も分からないし、はまると嫌だし、道路わきに寄せて車を停める。

【◎～登山口】林道に雪崩の危険ありとの情報を得ていたの、最初からビーコンを着けて行く。ゲート手前の駐車スペースまで、除雪されたのか凍結箇所はあるが積雪はほとんどなく、四駆らしい車はすいすいと入って行った。ゲートから先、登山口までは積雪あるがラッセルの必要はない。先に行っている足跡が雪面に残っていた。

【登山口～恵那山】先行者がいたはずなのに、登山口から先には今日のものらしい足跡はなく、しかしトレースは残っていたので何も考えずに登っていくと小さなデブリがあった。見回すと、いつの間にか谷地形の中にいることに気づく。今日は降雪から日が経っているらしく雪は締まっている。1ピッチ目はトレースを歩いてほぼ夏タイムと同じだったので楽勝ムードが漂った1716ピークを過ぎると間もなくトレースがなくなった。踏み抜きもあったので輪かんを着ける。ここからは左側が南アルプスに向けて展望が開けた雪庇の残る尾根を登る。所どころクラストしていて輪かんでは登りにくい箇所もあったが、山頂へ向けて方向を変えると傾斜も落ちて尾根の雪も深くなった。すぐだと思った山頂は意外に遠く、最後に傾斜も出て疲れ切って山頂標識のあるピークに出る。樹林に囲まれて展望は何もなく、意味のない檜が立っていた。

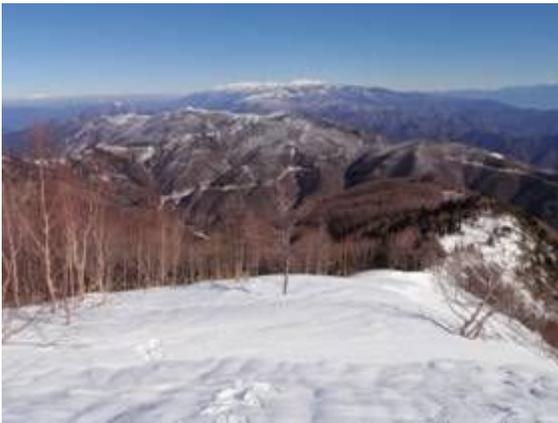
【恵那山～2191ピーク?～登山口～◎】一旦下り、避難小屋を過ぎて、恵那山最高地点を目指す。…が、そんな顕著な上りもなく、樹林で周囲がよく見通せないし、より高いところを目指して進んで行くと展望が開けて社がひとつ。時間も時間だし、ここを終了点として来た道に戻る。山頂標識のところに戻ると登山者が一人、檜に登っていた。朝イチの先行者のようだ。どこにいたんだろう…。何か見えるか聞いたら、何も見えないと言っていた。自分たちの輪かんの後をつぼ足で登ってきたようだ。こちらは輪かんのまま下って途中で外し、2ピッチで登山口に着く。帰りの林道は、凍結箇所でも仲良く1回ずつ尻もちをついて、温泉は近くの月川温泉の宿の日帰り入浴600円也。

紙面不足の場合は裏面へ

報告者	大山	受付	平成	年	月	日	受付者
-----	----	----	----	---	---	---	-----



樹林帯を抜けると快晴の
空の下の快適な尾根



中央アルプス！



南アルプス！



山頂へ向けて方
向を変えると、
展望は閉ざされ
樹林帯が山頂ま
で続く。